

### 音が人をつなぐ

心に響いた春一番コンサート

瀬戸内市の合併を祝い、春一番コンサートが3月6日、邑久町公民館で開催されました。



自らも楽しみながら、心を込めて歌う「コールダンデリオン」の皆さん

これは、合唱グループ「コールダンデリオン」(石黒清美代表)が、「音でつなごう心の輪」をテーマに企画・運営したもので、会場に詰め掛けた約300人がコンサートを楽しみました。

「コールダンデリオン」の皆さんの「お祭りマンボ」などを皮切りに、市内5団体のコーラスグループの皆さんやオカリナに舞台上に立ち、美しい歌声やオカリナの音色を響かせました。「岡山新堀ギターアンサンブル」カッコー「の皆さんはギターを奏で、聴衆を魅了。最後に、「エーデルワイス」など2曲を舞台と会場が一つになり合唱。心が心をつなぎ、盛り上がるの幕が下りました。



28人に表彰状と記念品が贈られました

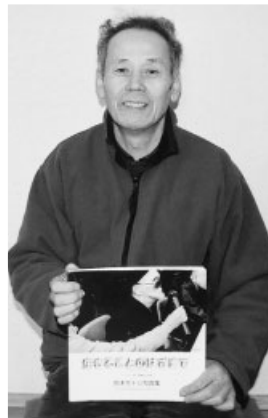
### 地域が人を、人が地域を育てる

裳掛地区を明るくする会が表彰式

裳掛地区を明るくする会(金居章甫会長)が2月25日、裳掛コミュニティセンターで表彰式を開催しました。同会が、日常、地域で優れた活動をしている人を表彰し、さらなる青少年健全育成を促進しようとする会(毎年行っているもの。この日はスポーツ少年団で活躍した団員や指導者、学業や生徒会活動に励んだ生徒、地域の清掃を行った大人など28人をたたえ、表彰状と記念品を贈りました。

### カメラで追うハンセン病の歴史

鈴木サトシさん 写真集出版



写真集を手にする鈴木サトシさん

鈴木サトシ(敏)さん(69歳・牛窓町牛窓)が、全国の国立ハンセン病療養所で暮らす元患者のモノクロ写真集『生きることはさまでーハンセン病 隔離の肖像』を出版しました。

鈴木さんは、日本のハンセン病の歴史を記録に残そうと約6年かけ、長島愛生園など8カ所を100回以上訪問し、写真を撮り続けました。写真集は撮りためた約1万点の中から80点を選び、構成されています。

### 野球の練習に役立てて

岡さんがピッチングマシン寄贈

野球の練習に役立ててもらおうと2月18日、牛窓中学校にピッチングマシンが贈られました。寄贈主は、岡賢次郎さん(61歳・牛窓町牛窓)。岡さんは、中学校のグラウンド側を通りかかった際に、一生懸命練習する野球部の生徒たちを見かけ、もっと良い環境で練習に励んでもらいたいとこれを購入し、保護用ネットと合わせて寄贈。

早速、これでバッテリー練習をした牛窓中野球部の上田章詞君(14歳)は、「このマシンでチームの打撃力を補っていききたい」と喜びを話してくれました。岡さんの熱いエールに励んで、生徒たちは夏の大会を目指し、日々練習に励んでいます。



思いがけないプレゼントを喜ぶ、牛窓中野球部の生徒と岡賢次郎さん(写真右)

### 人権問題をみんなで考えよう

人権フェスティバル・青少年健全育成推進大会

邑久町公民館で2月27日、人権フェスティバル・青少年健全育成推進大会が開催されました。大会では、人権啓発「文字」展優秀者30人、「明るい家庭づくり」作文優秀者9人、標語優秀者9人を表彰。表彰後、作文優秀者の中から6人の作文発表があり、入江天翔君(国府小1年)が、「せんたくものをたたんだよ」を元気よく発表。人権講演会では、『人権問題10代の子どもたちと障害と非行の体験を通して』と題して笹岡郁子さんの講演があり、「子どもたちは大人の声を聞いて待っている。あなたを大切に思っている。と声をかけ続けてほしい」との自己体験を通じた講話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

### 楽しみながらも真剣に

男の台所講座で腕振るう

男の台所講座が2月16日、長船町公民館で開かれ、市内の男性17人が腕を振りました。メニューは、ビーフストロガノフ・ポテトサラダ・白菜の甘酢かけの3品。家ではほとんど料理をしないという男性も、レシピを見て手順を確認しながら慣れない手つきで野菜を切ったり、味付けをしたり。参加者の皆さんは真剣に、そして楽しみながら調理を進めていきました。「このような講座に参加すると、料理作りも楽しみになるでしょ」と中村哲雄さん(61歳・長船町長船)。頼もしく前向きな皆さんの「男の台所」で、おいしい料理が次々に出来上がりました。



力を合わせて、ビーフストロガノフに挑戦!